

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第六小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	・日々の児童の姿について情報共有を行い、繰り返し「相手の立場にたって考えること」を伝えていくことで、思いやりを身に付けさせる。 ・授業の成功例や改善点などを教職員同士で共有し、常に授業改善を図る。	A	・校長先生を中心に職員一丸となって子供たちの為に努力をしている。 ・教職員が組織的に取り組んでいる様子が伺える。 ・教師一丸となって様々な取り組みをしていただいているが、職員個々がさらに力を伸ばし、児童の支援をしていってほしい。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	A	・安全点検の相互確認を徹底するために、二人で確認するなど一人ひとつではない方法で点検する。 ・職員室内、教材室内など何をどこに管理するのか職員で共通理解をする。 ・心の安全(心理的安全性)の充実のため、いじめアンケートの定期実施と迅速対応、教職員の見守り強化(登下校・休み時間)等を行う。	A	・不審者情報など、連絡配信アプリteturuによって迅速に対応されている。 ・心の安全(心理的安全性)の充実のため、いじめアンケートの定期実施と迅速対応、SOSの出し方教育実施、教職員の見守り強化(登下校・休み時間)などを行えるとうい。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	・校内研修で授業改善を継続する。 ・宿題の出し方・見取り方など、学年初めの指導方法の統一を図る。 ・読解力に課題があるため、読書の時間の確保や、全校で読解力に関係する学習に取り組む。	A	・デジタル教材とプリント等の併用による基礎の定着を望む。 ・デジタル教材・AIDリルの活用は必要と思うが、鉛筆と紙を使って丁寧に学習を進めるスタイルも大切にしてほしい。丁寧に字を書く、位をそろえて筆算をするなど、基礎的な力も身に付けてほしいため。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	・総合的な学習の時間、生活科で児童の言葉から課題を考えたり、まとめをしたりしているが、どの教科もそのスタイルを意識していく。 ・教員同士で指導案を共有する。また、児童の実態を複数の目で共有することで、児童のつまづきを把握できるようにする。 ・全学調・県学調の結果を省察し、本校児童の強みと課題を日々の学習指導に生かしていく。	A	・「わかる」「できた」を実感させる成功体験を多く経験させたい。 ・協働的な学びを意図的に取り入れ、友達の多様な考えに触れられるとうい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	・4月当初に授業規律・清掃指導・給食指導に関する研修を行い、職員で共通理解・共通指導を行う。 ・学習のルール、生活のルールを厳選し、指導する。	A	・来校すると、児童からよく挨拶をしてもらえる。 ・児童会のあいさつ運動がしっかりと身に付いていると感じる。 ・学年に応じた生活のルールを厳選し、児童にも職員にも分かりやすいものにするとういのではないかな。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	・職員の共通理解と共通指導の徹底。 ・よくないことは、その場できちんと指導する。(職員によって児童への関わりがばらつかないようにする) ・目の届きにくいところでの児童の行動(廊下歩行、廊下にたまる、トイレの使い方など)を防ぐ工夫をする。	A	・職員自らが児童の模範となっていることを自覚し、挨拶・時間を守る等の行動を実践することが必要ではないか。 ・規律ある態度の育成は、学校だけでなく、保護者、家庭、地域が共通意識をもって連携する必要がある。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	・休み時間の外遊びの制約を緩和する。 ・教員も積極的に校庭に出て活動することで、児童の外遊びを奨励する。 ・体を動かすことの喜びを感じられるような体育授業の組み立てを職員間で共有する。	A	・毎休み時間、全学年が校庭に出られるとういのではないかな。 ・先生たちが休み時間に積極的に外に出て遊んでいる姿が見られるので素晴らしいと思う。 ・体を動かすことの喜びを感じられるような体育授業の組み立てをお願いしたい。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	・体育の授業で、励まし・承認の声かけを積極的に行う。 ・体力アップ教室・体力アップカードの内容のさらなる充実を図る。 ・体力アップカードを活用し、児童が自ら体力向上に努められるよう習慣化させる。	B	・児童数と校庭の広さを考えると、子供達はよくやっていると思う。 ・児童の健やかな成長に今後も尽力してほしい。 ・朝霞市ロードレース大会への参加呼びかけを積極的に行うことで、家庭でも体力向上に意識をもったり、取り組んだりできるのではないかな。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	・どんな活動で誰と連携したか、情報が引き継がれるようにしていく。(次年度の担当者や、異動してきた人など、誰もが確認しやすい形で残していく) ・学校運営協議会委員をはじめ、地域の方との交流を通して、保護者や地域の声を直接聞くことができるようにする。	A	・学校応援団として、学校へ来ると学校や児童の様子がよくわかる。 ・他校の保護者からも学校と地域の連携がよくされているとお声がけいただくことがある。 ・学校応援団による学習援助も行えるのではないかな。 ・保護者向け学習会の周知をもっと積極的に行ってほしい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	A	・学校応援団を中心に、校外学習の見守りや体力テスト・清掃活動のお手伝い、総合的な学習時のお手伝いなどたくさんのご協力をいただいていることに感謝している。 ・teturuによる迅速で、効果的な連絡の一層の充実を目指す。 ・年1回の「学校×学校運営協議会 意見交換会」の継続により、地域との繋がりを大切にしていく。	A	・teturuによる効果的な連絡の充実を期待したい。 ・今年度より始まった、「学校×学校運営協議会 意見交換会」が大変実りある物だった。ぜひ継続してほしい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満